

能^ノ區^ク珥^ニ。箇^カ利^リ古^コ武^ム等^ト。儼^ナ波^ハ企^キ箇^カ輸^ス挪^ヤ。奉^ル和^ハ歌^カもあれど今

あやを出さば是時そ皇朝鷹狩の始りしとこれよりそこ

明^ミこの御代くの天皇遊獵^{鹿猪の外は野行幸し終ひてこれ}

御狩をそし終ひる後ゆハ近衛府に附く鷹飼を多く

おもひしやその題は野行幸とあるを御鷹狩のより

されば趣訪大神はあはれ皇朝より鷹の神と崇めなむ

なりきハ此大鷦鷯^{オホササ、キ}天皇^{謚仁徳}あぞよりしる此天皇より世

人も初めく應神天皇の^{世ニ云ハ幡}第四の皇子はゆりて

あやに仁寛慈惠の御心ふりくゆりし御代は八十

御在位

七年よりしを終ひ今の世より若宮ハ幡宮と諸人此